



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1960号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 野田 和秀 幹事 平出 利之



広重版画より 三島 朝霧

第2023回例会

2014.4.24晴

司 会

栗原達治君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 三田明宏君

会長挨拶

副会長 諏訪部照久君

皆さん今日は、今月は第四例会が副会長の挨拶となりましたので宜しくお願いします。

さて先週から毎日騒がれている韓国の沈没客船セウォル号の惨事を、朝鮮日報中国語電子版は、100年前のタイタニック号の生存率とほぼ同じ30%台だと非難しているようです。しかしタイタニック号の場合、船長・副船長・一等航海士のとった行動は、自らの意思で船と運命を共にしたし、子供と女性客を先に避難させた後に男性を避難させた等、倫理的かつ紳士的な行動が数多く確認されていて、セウォル号の場合とは全く違ってきます。当然どちらもパニック状態だったことは変わらないはずですが、タイタニック号の場合は、沈没した場所と規模が全く比較にはなりませんので、むしろ当時としては良くやった、と言えるのではないでしょうか。むしろ今回の事故と似た例は、ほぼ同型のフェリー、ありあけ号の転覆事故でしょう。この事故では、船が傾きすぎると客室のドアが開かなくなる事を想定して、まず乗客を客室から出し、消防用のホースで甲板に引っ張り上げる行動をとりました。そこへ救援で駆け付けたヘリに救助させ、最後まで残った船長・航海士ら6人は救命ボートで脱出したため、乗客を含めた死者は0人という事故ですみました。いったいこの結果の違いはなんなのでしょうか。それでも、結果はともあれ、ありあけ号とタイタニック号の乗客優先の方針は必然的なことでしょう。今回の事故で日本政府は、早々と朴大統領に救助支援の申し出をしましたが、既に手遅れとなった一週間後に、やっと返事があったとのこと。それどころか朴大統領は、早々と船長らに対して“殺人に等しい行為だ”と非難しています。又、その後には、韓国や中国のメディアは“セウォル号は日本製”を強調しています。近隣諸国の思惑は色々あるようです

が、このような状況下での理解できない言動には、がっかりさせられました。

この加害者とメディアを含めた関係者達は、目的の分からない被害に対する非難よりも、まず尊い人命を一人でも多く救う為には何をやるかに、最善を尽くすべきだったのではないのでしょうか。さて皆さんは、この事故についての言動をどう思いましたか。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 坂本和也さん
(関本(文)・矢岸・椋山君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メー ク ア ッ プ	修 出 席 率
前々回	35/43	81.40%	40/43	93.02%
今回	41/48	85.42%	会員総数	53名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、石川君、遠藤(正)君、長田君、藤江君、村山君

幹事報告

幹事 平出利之君

①5月の第1例会は、特別休会です。お間違いのない様お願いします。

次年度より

次年度幹事 千葉慎二君

①次回5月8日(夜間例会)の例会前、17:45より今年度の理事・役員会におじゃまして、新・旧合同の理事・役員会議を開催しますので、次年度の理事・役員・委員長の方々をご参集ください。

2013～2014年度
国際ロータリー会長
ロン D.バートン

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

おめでとう

入会記念日 川名君、登崎君
奥様誕生日 小野君、亥角君
結婚記念日 柳田君、橋本君、
諏訪部(照)君、前田(博)君

表彰



ベネファクター 矢野敏夫君

スマイルボックス

- ◆平出君、①先週の4月17日(木)の沼津朝日という新聞に、少しだけ私の学生時代の野球の記事が載ってありました。この新聞をわざわざ届けに来た方がいた事と、私の記事を書いた方がいる事にビックリしました。②土屋時雄さんの訃報に際し、瀬川さん・千葉さん・前田博利さん・平出と手分けをしての電話連絡に協力して頂きまして、ありがとうございました。お通夜当日の4時頃に訃報の連絡をいただきました。これからFAXで皆さんにお知らせするのは間に合わない。ましてや土曜日でしたので、FAXを見るころには告別式も終わってしまう。それで電話での連絡になりました。
- ◆室伏君、宇田川さん、先日はご長男の結婚式をお手伝いさせていただきました。おめでとうございます。舞台演出のプロフェッショナルらしい感動的な演出でした。
- ◆森崎君、いいお天気ですね。本日は早退させていただきます。

卓話

その後の私

花房孝光君

前回の卓話は一昨年9月、丁度ワインソムリエの2次試験直前でした。

一昨年の2次試験はテイスティングで5種類すべてをはずしあえなく不合格。筆記は勉強すれば何とかかなりでしたが、舌(味覚等)はそう簡単には出来上がりませんでした。どんな試験でも落ちると気持ちは落ち込みます。ワインを飲むのはやめていました。2か月ほどして一緒に試験を受けたイタリアンレストランの方(彼は合格しました)のところへお祝い方々食事に行きました。

「おめでとうさすがだね。」

「いえいえテイスティングは1問しか正解せずひやひやしていたんですヨ。」

えっ、1問でも合格できるんだ!で勇気をもらい、幸い翌年1回は1次試験は免除なので背水の陣でテイスティングを再開しました。

今回の合格で一番効果があったのはテイスティング講座の受講でした。試験合格に特化したとてもわかりやすいものでした。

テイスティングは2問正解で合格しました。

待ちに待った金バッジですが、5か月ほどは付けてお客様の前に出ることができませんでした。自分の実践での知識の無さに恐くて人にも言えませんでした。

合格後は本当に毎日酔っぱらっていました。良く飲みました。今は少し形になってきていると自分では思っています。

来年60歳になりますが、いくつになっても目指すものがあると充実していますし、すべてにポジティブになれるので次は何を……?漢検1級かな……。

委嘱状



米山記念館委員会 運営小委員会委員 柴崎恵子君

(週報担当:米山 寛)